

センバツ3年ぶり10度目出場

光星ナイン「優勝旗を」

本社訪れ決意

阪神甲子園球場での第91回選抜高校野球大会(センバツ、3月23日から12日間)に3年ぶり10度目の出場となる八学光星高硬式野球部が8日、八戸市のデーリー東北新聞社を訪れ、東北勢の悲願である全国制覇に向けて意気込みを披露した。

(里村静)

この日は仲井宗基監督、頭、安井基悦協賛会長と昨1した選手19人が訪問。社員小坂真志部長、中村良寛教、秋の東北大会でベンチ入りらに拍手で出迎えられ、仲



デーリー東北
動画配信中



花束を受け取り、笑顔を見せる武岡龍世主将(手前右)と仲井宗基監督
=8日午後1時20分ごろ、デーリー東北ホール

井監督と武岡龍世主将が花束を受け取った。

デーリー東北ホールで行われた荒瀬社長らとの懇談では、仲井監督は選手たちについて「武岡主将を中心にとしたまとまりのある高校生らしい、いいチーム」と評価。「同校にとって10回目の出場で、平成最後のセンバツという節目の年。東北、青森が全国制覇を逃し続けてきた歴史にピリオドを打ちたい」と勝利を誓った。

武岡主将は「東北代表としての責任を胸に、何としても優勝旗を持ち帰りたい」と宣言。

続いて選手全員が「100分のプレーでチームを勢い上げたい」などと抱負を述べた。

荒瀬社長は「いいコンディションで大会に臨み、一戦一戦力を出し切ってほしい」と激励した。

選手たちは3月11日、大阪に向けて出発の予定。大会までは練習試合などで最終調整するという。



市庁前に設置された応援看板の前で、決意を新たにする八学光星ナインら=8日

八戸市庁舎に看板設置

八戸市は8日、第91回選抜高校野球大会に出場する八学光星高硬式野球部の活躍を期待し、応援メッセージを掲げた看板を、市庁本館前に設置した。

大きさは縦0・9メートル、横9メートル。海をイメージした青色の背景に「春のセンバツ出場おめでとう」「めざせ全国制覇」など、ナインを激励する文言が記されている。センバツ最終日の4月3日まで設置予定。

光星ナインらは8日、同校の小野崎龍一校長と共に市庁を訪ね、小林真市長らと懇談し、大会に向けた抱負などを述べた後、庁舎前に移動して看板の設置を見守り、決意を新たにしていた。

小林市長は「これまで大変な練習や試合を乗り越えて成績を残してきたことと思う。平成最後の大会、東北の悲願達成を願っている」とエールを送った。

(里村静)

光星に応援メッセージ